心豊かに育ちあう
沢の子
令和8年度 重点目標
"いつでも考え学びあう、笑顔あふれる"
子どもの育成
余市町立沢町小学校　令和８年１０月３０日（金）　第７号

個性を生かして！

校 長　葛西　統実

食欲の秋、運動の秋、勉強の秋と言われるように、秋は一年の中でも色々な物事に集中して取り組むのに最も適した季節と言われています。学校でも１７日（土）に、学習発表会を開催いたしました。学年毎に歌や器楽、ダンス、音読、縄跳び、総合的な学習の時間で調べた事の発表等、日頃の学習の取組を台詞や音楽で繋ぎ、工夫を凝らした個性の光る発表に仕上げていました。当日は、多くの保護者や地域の皆様にご観覧いただくことができました。子供たちも練習の成果を十分に発揮し思い出に残る学習発表会になったのではないかと思います。

さて、私が、よく見るテレビ番組があります。それは、出演する芸能人たちが様々なアート作品に挑戦し、その道の専門家が作品の出来栄えを評価したり、ランキングにしたりしていく「プレバト」と言う番組です。その中に、俳句の夏井いつき先生の「俳句の査定ランキング」というコーナーがあります。私はそのコーナーを特に好んで観ています。

「俳句の査定ランキング」では、一枚の写真をお題にして俳句作りに挑戦します。季節の写真や、何かの風景や行事の写真がお題になります。多くの場合、私たちの生活の中で普段目にする場面や景色の写真がお題になります。その写真から受けたイメージを、出演者が十七文字の俳句に創り上げていくのがこのコーナーの面白いところです。

出演者たちは一枚の写真から実に様々な俳句を創り出します。同じ写真のお題であっても、出演者が創り出す作品には、一人一人の感じ方の違いやその人の体験の違いが表れます。人は一人一人それぞれ違いがあり個性があります。だからこそ、様々な個性豊かな作品が生み出されるのではないでしょうか。

また、それぞれの作品について夏井先生が講評を行います。中には厳しいコメントや辛口の評価を行う場合もあります。しかし、着目するところは、夏井先生が出演者の作品に込められた思いや、作者が本当に表現したかった思いを酌み取り添削を行う場面です。場面にあった言葉の選択や、語順などを添削し、作者の思いをしっかり捉え、作者が本当に言いたかったことがより伝わりやすい俳句として再構築していきます。「あなたの本当に伝えたかったことは、こうすれば伝わるよね」とコメントし、出演者たちも納得の表情を浮かべます。これは、一人一人の個性を大切にしているということです。

人にはそれぞれ「その人らしさ」があり、「違い」があるから新たな発見や喜びがあります。学校も子供たち一人一人の違いや個性を生かす教育活動を充実させていきたいと思います。今年の残りの２か月、そのことを念頭に過ごしてきたいと思います。